

壁紙施工要領書
- 金銀手貼箔 -

【該当品番】 (2024- Lilycolor MATERIALS)
LMT-16002～16005、16186～16230

■ 特長

- ・薄く伸ばした金属を、1枚1枚手貼りした、風合いと光の反射が美しい壁紙です。

■ 選択上の注意

- ・手加工品の為、色や風合いが1枚ずつ異なります。
- ・箔の大きさは均一ではありませんので、柄合わせができません。あらかじめご了承ください。
- ・水に濡れると錆や変色の原因になりますので、水廻りには適しません。
- ・金属板・ガラス・耐水ボードなど、非吸水性の下地には貼らないでください。糊が乾かず、変色・腐食する場合があります。

■ 下地調整

- ・商品自体の厚みが薄く表面もフラットですので、下地面はできるだけ平滑に仕上げてください。特にパテかけ、サンダーがけは入念に行ってください。また、釘やビス頭部では、不陸の段差が増長され余計見えやすくなりますので、特に念入りに下地調整してください。
 - ・モルタル、漆喰下地ではアクの影響があるため、全面シーラー等でアク止めを完全に行ってください。
 - ・打ち釘は、変色・腐蝕防止のためステンレスかプラスチックの釘を使用してください。
- ※詳しくは施工上のご注意の共通事項をご確認ください。

■直張り施工

- ・モルタル、漆喰下地への直張りはなるべく行わないようにしてください。
- ・鉄板などの吸水性のない下地へは、Sタック等の両面テープを使用した乾式工法も有効です。
- ・接着剤は、原液タイプをお薦めします。また、接着剤塗布後は、うませ時間を5～10分程度とって作業を進めてください。
- ・なで付けの際は柔らかい刷毛を、ローラー掛けの際はウレタン製のものを使用し、丁寧に均一に行ってください。スモーカーの使用は、キズの原因となるため、使用をお控えください。

■袋張り施工

- ・美しい仕上げには袋張り施工がおすすめです。
 - ・下張りは、喰い裂き手法で行ってください。
 - ・糊付けは手付けにて行ないます。接着剤の配合については、
中糊 ⇒ でん粉糊10に対し水を7前後で
回り糊⇒ でん粉糊10に対し水を5前後で
行ないます。うませ時間は5～10分程度とって作業を進めてください。
 - ・なで付けの際は柔らかい刷毛を、ローラー掛けの際はウレタン製のものを使用し、丁寧に均一に行ってください。スモーカーの使用は、キズの原因となるためお控えください。
- ※袋張りは紙基材にのみ対応している施工方法です。防火の認定が取れない場合がありますのでご注意ください。

■その他

- ・表面に糊が付くと変色の原因になるため、糊付けの際は専用の保護フィルムを貼り付け、巻き取ることをお薦めします。畳む場合は、タタミジワを防ぐため、必ず大きくたたんで上積みは避けてください。折り目が入ると跡が残ります。
- ・カッターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態で使用してください。
- ・表面に施工糊や汗などの汚れが付着したままだと、錆の発生や変色のおそれがあります。付着した場合はすぐに水を含んだタオル等で拭き取り、残った水分をよくしぼったタオル等でたたいて取るようにしてください。
- ・ジョイントは目地処理を施すか、重ね張りで納めるようにしてください。
- ・重ね裁ち（ダブルカット）の場合はカットテープ等を使用し、表面に糊などの汚れをつけないようにしてください。
- ・粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがありますので、なるべく使用は控えるようにしてください。

■施工後

- 施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。袋貼りでは裂ける事もある為、自然な状態で、時間をかけて乾燥させてください。
- 糊が乾く前にコンセントカバーなどを取り付けますと変色の原因になります。必ず完全に乾燥した後で取り付けてください。